

第2回津久見市地域公共交通活性化協議会議事録	(日時) 平成21年9月25日(金) 13:30～
	(場所) 津久見市役所委員会室

－ 議題 －

協議第1号 平成21年度津久見市地域公共交通活性化協議会事業詳細について

- ① 乗合タクシー実証運行
- ② 連携時刻表
- ③ 津久見駅舎内案内放送
- ④ その他今後予定している事業

－ 出席者 －

委員15名中、14名出席

<内容>

1. 開会

【事務局】

- ただいまより、平成21年度第2回津久見市地域公共交通活性化協議会を開催します。進行をいたします。津久見市まちづくり推進課主幹の旧杵と申します。よろしくお願いします。

2. 協議会委員の変更

【事務局】

- 中央病院の事務長さんが代わりましたので、三浦委員から朝生委員に変更したいと思います。

【朝生委員】

- 朝生ですよろしくお願いします。

3. あいさつ

【宇都宮会長】

- ご多忙中ご出席いただきましてありがとうございます。6月30日に第1回協議会及び交通会議を開催いたしました。その後、事業内容の検討や許認可手続きを進めてきたところですが、九州運輸局大分運輸支局様、道路管理者の方々、公安関係、交通事業者の皆様方のご協力について感謝申し上げます。また、昨年からの路線バスの関係ですが、やむなく廃止及び減便に至った地域もありますが、ある程度のご理解をいただきながら進めさせていただきました。関係の区長さんをはじめとしたご協力に重ねて感謝申し上げます。本日は、10月1日から実施します、乗合タクシー事業や連携時刻表などの事業の詳細についての説明を行いたいと考えています。色々な方々から、路線バス時刻などについてご意見をいただきました。また、後ほど事務局より説明がありますが、一部修正を加えている部分もあります。市民生活を支えている公共交通であるということを再度認識し、利用者の利便性向上や市民生活安定のため、計画事業の中で、津久見市にとってより良い方法を見出していく必要があるかと思っております。委員皆様方のご協力をお願いしましてあいさつとさせていただきます。

4. 会議録署名委員の指名

【事務局】

- 津久見市地域公共交通活性化協議会規約第7条の規定により、会長に議長をお願いします。また、本日の出席委員数は全員の14名であり、第7条2項の規定により本会議は成立していますことを報告します。

【宇都宮議長】

- 津久見市地域公共交通活性化協議会会議運営規定第8条により、本日の会議録署名委員に、佐藤豊明委員と後藤慎二委員を指名します。よろしくお願いします。

5. 議事

(1) 協議第1号 平成21年度津久見市地域公共交通活性化協議会事業詳細について

【宇都宮議長】

- 協議第1号、平成21年度津久見市地域公共交通活性化協議会事業の詳細について、議題といたします。まず、①の乗合タクシー実証運行②の連携時刻表③の津久見駅舎内案内放送についての説明をお願いします。

【事務局】

- 津久見市の連携計画は、合併後の広域な地域を結ぶ、コミュニティ交通を主体的に検討している他市町の動向とは若干違い、路線バス事業など民間事業者の経営安定と行政、市民の役割を定義づけ、利用者からある程度の料金を収受し、市民一丸となって守り、持続可能な公共交通ということをテーマに進め、策定させていただきました。さまざまな事業を3ヵ年で予定していますが、その初年度については、とりわけ重要と思います。路線バス廃止のご提案もありましたが、可能な限り民間事業を継続していただきたく、路線バス補助にて減便して運行する川内線などの対処をしてまいりました。今回の市内部2ルートは、新たな交通体系の構築への実証運行となります。この運行は、乗合タクシー事業として、ジャンボタクシーを活用し行いますが、事業主体は、津久見・光のタクシー会社です。児童生徒送迎時間と重複しないような形で運行配分をお願いしていますが、基本的には、路線バスとの競合を避け、かつ、通常のタクシー事業の弊害にならないよう配慮しています。つまり、調査結果にもありますように、日頃、ご家族に送迎していただいている方々や徒歩移動が困難である高齢者を対象とした顧客獲得が一つの狙いです。それでは詳細について簡潔に説明します。
- ①乗合タクシー実証運行《中央病院～津久見駅線》
つくみん公園・津久見駅・市役所・彦の内旧道を通り、千怒越トンネルを經由し中央病院へと運行します。運行時刻は、朝1便は離島航路時刻にあわせ、午前1往復、午後1往復で設定しました。月・水・金の週3回運行ですが、国道217を走る路線バスとの併用も可能です。駅裏及び彦の内地区住民の中央病院への通院にどれだけの利用があるか調査することが目的です。また、路線バスとあわせ、市全体的な中央病院への移動手段の確保ができると思われれます。
- 《市内中心部循環線》
つくみん公園・津久見駅・市役所・上宮本町・津久見浦を經由しつくみん公園に帰ります。火・木・土の週3日、1日4本の運行です。朝一便目は、離島航路の一便目にあわせ、特に、JRへの接続を重視しています。その後は、午前・午後に分け、通院・買物ニーズを調査します。通院の移動手段確保と中心商店街の好影響があればと期待しています。なお、色々なご意見をいただいた中で、一部のバス停名を変更したいと思います。大石医院前を上宮本西公園前、深江医院前を津久見駅南、池邊整形外科前を市民会館横とします。本日配布した資料は修正していますが、事前配布資料はそのままになっていますのでよろしくお願いします。なお、6月以降許認可手続を進めてまいりましたが、今回の修正については、後ほど大分運輸支局さんからご説明いただければと思います。
- 《落の浦～大浜線》
バス路線の廃止に伴い、週1回月曜日の運行です。朝一便目の大浜入口発の大分バスと接続します。帰りは、午後一番で接続します。また、臼津交通の四浦線の活用も検討していただければと思います。
- 《路線バス運行時刻の検討》
臼津交通さんと路線バス運行時刻の検討も行いました。バス運行系統や乗務員の勤務労働条件等を考慮し、昨年の調査結果を参考にしました。堅浦線は、早朝便の長目からの乗客が皆無に等しいことから、始発を久保浦に変更し、JRの大分行き普通電車で接続しています。また、中学の始業時間や通勤にあわせ、二便目を楠屋発としています。川内線は、通院のニーズが多い、午前中の便と午後便にわけ、平日3.5便で再編しています。四浦線は、できるだけ運行時間を短縮すべく、赤崎経由便と津久見市方面へ向かう上り便は、運動公園を經由せず、津久見駅に直行するようにしています。その他、極端に利用者の少ない便は見直しをしています。
- 《実証運行調査》
調査業務は重要な位置づけにあると思います。昨年度の調査業務と同じ手法で実態調査を行います。3ルートともに目的は異なりますが、それぞれ調査が必要と思いますし、路線バスやJRとの乗継連携の分析も必要です。昨年の調査業務との関係が強いわけですが、第1回協議会にてご説明したとおり、数社の見積を比較して業者を決定いたしました。この事務については会長の専決事項として行いましたが、見積競争の結果、地域科学研究所さんをお願いすることとなりました。
- ②【連携時刻表】
JR時刻を基本に、路線バス、船舶、乗合タクシーを掲載しました。レイアウトが大変難しかったのですが、観光パンフレットの大きさを参考にしました。今年度は主に、路線バス・乗合タクシーのJRとの接続を基本にしています。バスからの接続、JRからの接続をそれぞれ色分けして、番号をふ

っていますが、バス・列車到着後 10 分～30 分の範囲で記載しました。今まで、このような視点で、バス時刻を見たことがなかったものですから大変勉強になりました。大変なボリュームですので視覚的に見やすいかどうか、利用価値がどの程度あるかは分かりませんが、一度作成すれば、そのデータを修正するのみとなりますので、次年度以降は安易に作成できると思います。この業務は、単に時刻表を作成印刷するだけでなく、計画の基本である、公共交通の運行時刻の一元管理という視点から、時刻連携の欠点等を実証運行調査業務とあわせ、協議会へ報告することも含まれています。ついては、調査業務と同じ手法を用い、業者選定を行いまして、地域科学さんをお願いしています。なお、先ほど説明しましたとおり、市内中心部循環線はバス停名を変更します。この時刻表を、9 月末か 10 月初旬には市内全戸配布するようにします。津久見市規模でしか、このような取組はできないと思いますので、好評を博せばと考えていますし、今後は、コミュニティ運行と路線バス、JR といった連携時刻表が必要かもしれません。各々が可能な限り連携すれば、長目・四浦の半島部からの路線バス利用者、離島航路利用者が津久見駅又はつくみん公園を起点に、JR、コミュニティ運行に分かれ、それぞれの目的地に向かう移動手段の確保が可能と思われます。

➤ ③【津久見駅舎内案内放送】

連携時刻表にありますように、JR から路線バス等への接続は可能ですが、学生も通勤の利用者もそのような視点では考えていないようにあります。10 月 1 日からの実証運行に向け、案内放送設備を設置しました。まず、手始めに JR 利用者の方々に、路線バス等への接続が可能であるという旨をお知らせすることから実施し、その動向を見たいと思います。また、イベントなどの案内や利用者サービス向上策として、津久見にゆかりのある楽曲の放送なども行いたいと思います。

【宇都宮議長】

➤ 説明は終わりましたが、どなたでも結構です、ご意見ご質問はありませんか。

【小手川委員】

➤ 津久見港着が 13:15 で、つくみん公園出発が 13:20 となっているが、移動時間が 5 分で大丈夫なのでしょうか。

【事務局】

➤ 移動時間を測ってみました、5 分で移動可能と考えています。待ち時間が長いよりも思っ設定しています。路線バスは、待ち時間はもう少しあります。また、市内循環線の朝一便は、7:23 発 JR 特急に接続していますので、そのような時間にしています。

【宇都宮議長】

➤ お年寄りが多い中で、少しでも融通がきくと良いですね。

【佐藤委員】

➤ 例えば、中央病院行きの乗合タクシーが 8:30 発で、その次に 8:42 発で路線バスがでていますので、どちらも利用可能となります。

【事務局】

➤ 運行時刻は、この時間で届出をしていますので、若干でも融通がきけばと期待しています。また、今年度は、路線バス事業と乗合タクシー事業が重複しないように設定しています。乗合タクシーと路線バスの併用を時間帯や曜日によってできるようにしています。

【佐藤委員】

➤ 調査結果で、8 時と 10 時のやま丸の乗客が多いという事で、その便にあわせバスを乗り入れています。乗合タクシー中央病院行きは、月・水・金ですので、バスも利用すれば利便性は高まると思います。

【宇都宮委員】

➤ 二重で利用出来るわけですね。その他ありませんか。

【高橋委員】

➤ この連携時刻表については、見やすい見にくいも含め、アンケートとか市民の方々に意見をうかがう機会はあるのですか。

【事務局】

➤ ご意見を伺いたいと思います。

【高橋委員】

➤ 一回で完璧なものを作るのは困難だと思いますが、意見をうかがう機会がありましたら、順次改善し

ていけるのではと思いますが。また、連携時刻表の事ではありませんが、バス停の名前を変えることについては、どのような事情があったのでしょうか。

【事務局】

- 6月30日の第1回協議会や交通会議の中では、市内の個人商店や銀行、個人医院のお名前をそのままバス停にということで協議させていただきました。特に、市内中心部循環線については、個人医院が路線の端になりますので、新設バス停ということとしていました。今般、医療関係の皆様方から、個人の名前の一部だけお出しするのはいかがなものだろうかとの意見をいただきまして、時刻表に表記をしているのは、市内全ての病院・医院ではございませんので修正させていただいたということです。

【高橋委員】

- そのような事情があるのなら仕方ないですが、できたら市民の皆様方に、バス停がどこにあるか等わかりやすい名称が良いと思います。例えば、津久見駅南といってもわかりにくいかもしれませんし、今年度はその方向で行くとしても、アンケートでもご意見が出るかもしれませんので、次年度に向けての検討していただけたらと思います。

【宇都宮議長】

- その他、この事業を実施されます、バス事業者やタクシー事業者の方、ご意見はありませんか。

【後藤静昭委員】

- この時刻表の使い方ですが、接続の番号表示の色がわかるかなと思います。番号と色を囲むと、お年よりも見やすいのではと思います。

【宇都宮委員】

- 事務局検討して下さい。

【事務局】

- JR時刻の横に、バスの行き先等を表示できればよかったです。レイアウト上困難な部分がありました。先ほどの意見については検討します。

【宇都宮議長】

- その他意見がなければお謀り致します。協議第1号について、一部の修正がありますが、このように定めることにご異議ありませんか。 ～異議なしの声～
- 異議なしということでございますので、協議第1号津久見市地域公共交通活性化協議会事業の詳細については、原案を一部修正しまして承認させていただきます。
- 本件につきましては、昨年度から協議をさせていただき、本年になり、色々な手続きの上実施できる事業であります。実証運行や連携時刻表など、どの事業も有意義に進めていきたいわけですが、始めての試みでもありますので、10月以降、お気づきの点がありましたら、事務局までご一報下さい。
- それでは、④のその他今後予定している事業について説明をお願いします。

【事務局】

- ④【その他今後予定している事業】
- 《バス車内案内放送設備設置》
今後の路線バス系統の変化、コミュニティ運行に使用する予定ですが、早い時期に設置します。
- 《広報費》
交通マップなどの印刷配布について、当初は、実証運行広報費として考えていましたが、連携時刻表の配布にて代替が可能でありますので、地域公共交通システムとあわせ、引き続き検討したいと考えています。
- 《バス停設置》
実証運行にて、新規バス停設置を当初予定していましたが、臼津交通さんの協力をいただき、既存バス停の活用や簡易な掲示で行いたいと考えていますので今後検討します。
- 《地域公共交通管理システム》
津久見市の人口分布、医院・病院、バス停、公道、公共施設などのデータが完備されているシステムであり、交通マップ作成や実証運行データの入力が可能です。事業者については、同様な手法で地域科学さんをお願いしていますが、GISシステムを活用したものであります。実証運行調査と平行して構築します。

【宇都宮議長】

- ただいまの説明についてご意見ご質問はありませんか。

【高橋委員】

- バス停について、既存なバス停を利用するというのはわかりますが、簡易なものとなりますがどのようなものなのでしょうか。

【事務局】

- 乗合運行事業のお願いに回しまして、個人商店さんも含め、簡単な表示でお願いしました。重いバス停ではなく、印字した表示を壁等に掲示しました。

【高橋委員】

- 紙か何かを貼るということですか。利用される方が迷わないように、立派なものでも結構ですが、出来るだけ目立つようにしていただければと思います。

【宇都宮議長】

- 今のご意見について、事務局何かありますか。

【事務局】

- 工夫をさせて下さい。

【宇都宮議長】

- その他、ご意見ご質問はありませんか。よろしいですか。それでは、今後予定されている事業も同様に承認してもよろしいでしょうか。～異議なしの声～
- ありがとうございます。議事は終わりましたが、その他意見、連絡事項等ありますか。

【事務局】

- 今後の協議会の開催についてですが、年内事業の評価を行う必要があるかと思えます。年明け1月に第3回協議会を予定しています。年内については、緊急時のみ開催をさせていただきますが、その際はよろしくお願ひします。

【宇都宮議長】

- その他ございませんか。

【後藤慎二委員】

- 意見というよりも、経過の報告ということで発言させていただきます。先般、光タクシーさんと九州運輸局に行ってまいりまして、乗合タクシーを運行するに当たっての事業認可を受けるべく申請をしました。試験等もあったのですが、無事それもクリアして、10月1日から運行できるようになりました。タクシー事業は行っていますが、今回、乗合事業は初めてでありまして、先ほどから懸念をされています、ゆっくりこられて時間に間に合わない方など、できるだけ臨機応変に対応し、時間というよりも、乗られるお客さんがいれば、できるだけそれに合わせて運行できればと思います。また、報告で色々なご意見をたまわることもあるかと思いますが、その時はご紹介して、改善できるところはやっていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。

【宇都宮議長】

- ありがとうございます。他にありませんか。これで本日予定していた日程は終わります。この協議会が無事終わりましたことに感謝いたします。10月1日以後、事業が開始されましたら、さまざまな意見が市民の方からでようかと思ひます。その都度で結構ですので、事務局までお知らせ下さい。改正できるものについては、そうしていきます。その節はよろしくお願ひします。本日はありがとうございました。

会議録署名委員 佐藤 豊 明

平成21年11月16日

会議録署名委員 後藤 慎 二

平成21年11月20日